

栃木県総合文化センター大規模改修工事の概要

R2(2020).3 栃木県県民生活部県民文化課

平成3年に開館し、施設の劣化等が見られた総合文化センターについて、県の中核的な文化芸術振興施設として、長期にわたり安心して御利用いただけるよう、平成30(2018)年10月から令和2(2020)年1月まで大規模改修工事を実施し、令和2(2020)年4月1日に全館リニューアルオープンします。

ホール客席の改修



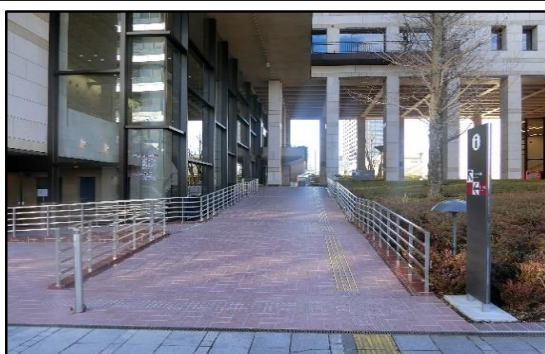
メインホールは座面の張り替えを、サブホールは全面的な改修を行いました。

安全性の向上



東日本大震災後に改正された建築基準法に適合した天井へと耐震化工事を行いました。また、通路に手摺りを設置し、安全性の向上を図りました。

利便性の向上・バリアフリー



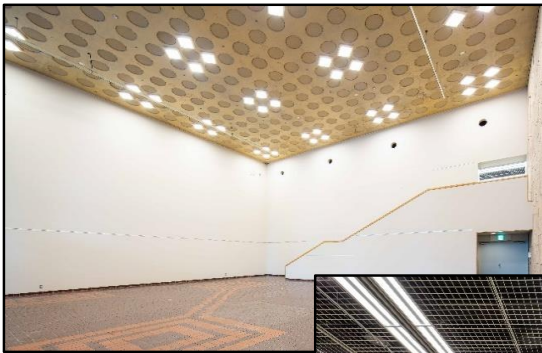
車椅子利用者の移動に配慮し、ホール棟軒下にスロープを設けました。また、イベント時混雑する女子トイレを増設するとともに、トイレ洋式化と洗浄便座の設置も行いました。

舞台設備の改修



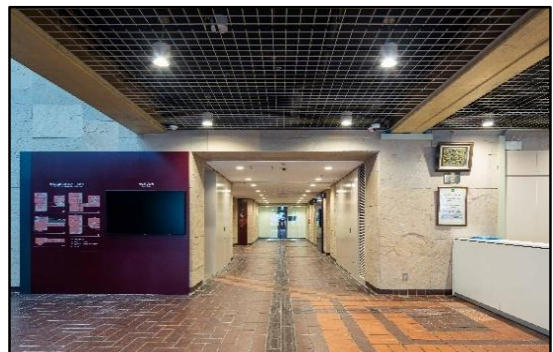
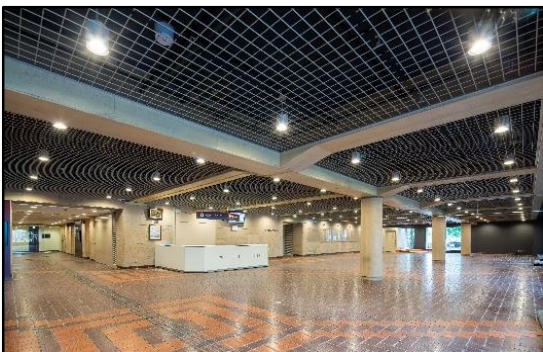
高度化する利用者ニーズに応え、今後も長く安定して使用できるよう、舞台関連の設備を全面的にリニューアルしました。

ギャラリー展示機能の充実



展示レールの設置、壁クロスの張り替え等を行い、展示環境の充実を図りました。

情報交流コーナーのリニューアル



サインの統一化や、インフォメーションカウンターまわりの再配置を行い、利用者の利便性の向上を図りました。